

SUNプロジェクト・日曜参観報告

教頭・国際教育センター長 桂 伸男

約2年の検討を重ねてきたSUNプロジェクトをこの夏、実施しました。児童12名が、スタンフォード大学でのSTEMプログラミングキャンプに約1週間参加しました。全米はもとより、世界の児童・生徒が集うこの生活で、国籍・文化の違いを超えて互いに認め合い、共に学ぶ、大きな刺激を受けたようです。

オール・イングリッシュの授業に対応するため、現地からのオンライン授業を受講して疑問点を解消し、また、校内での約2か月間の事前学習会で、自己表現力や伝える力を伸ばすなどの準備を進め本番に臨みました。

また、参加児童にとっては、山中伸弥教授の下でiPS細胞を研究後、スタンフォード大学に進み、シリコンバレーでの細胞医療会社を起業した田邊剛士さん(107期)による講演とiPS細胞の培養特別体験をしたことも、有意義であったのは間違いありません。

挑戦力・探究力・表現力を伸ばす機会があったSUNプロジェクトで、すでに世界基準でモノを見て、考え、感じた経験者でもある田邊剛士さんとの出会いは、各自の成長に大きな刺激を与えたのではないかと思います。



今回取り組んだことや先駆者との交流によって見聞きし、経験した全てが、将来の進むべき道の選択や、より良い判断力につながるものになっていくことを願っています。

また、田邊剛士さんには、9月29日(日)に実施した日曜参観での教育講演会を依頼して、講師として母校にお招きしました。医学研究者として、そして、細胞医療会社を起業したアントレプレナーとして感じてこられた学びの大切さについて、教育的示唆に富む話をしていただきました。講演会には、田口理事長、林山校友会会長、樋口PTA会長をはじめ、多くの在校生保護者が参加されました。

夏井いつき先生 句会ライブ開催

教頭 林 英男

テレビでも活躍されている夏井いつき先生の句会ライブを10月7日、3年ぶりに開催しました。

今回の参加者は3年～6年生の児童と応募された保護者のみなさんです。基本的な俳句作りのレクチャーの後、参加者全員によるコンクールが開催されました。7句の優秀作品が発表されたのち、最優秀に選ばれたのは3年男子の作品で「サッカーでぎりぎり勝った天高し」でした。今回も盛会のうちに終了しました。

